

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2013年第3週
(1月14日～1月20日)

- * 2013年1月23日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2012年12月)の疾患及び感染症豆知識
「RSウイルス感染症について」も掲載しています。

平成25(2013)年1月24日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2013年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	95	11	83	55	149	276	850
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢	1			1	1	3	6
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1		1	2	9	24
	腸チフス			1	1	2	1	5
	パラチフス	1		1	1	2		4
四類	E型肝炎		1	2	1	4		3
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎						1	2
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1			1		1
	つつが虫病	2					3	16
	デング熱			2		2	4	8
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱							1	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア				1	1	3	5
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	1	4	2	7	12	36
	レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱								
2013/1/23集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 55件 肺結核 30件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 16件、疑似症 4件、年齢は10歳未満 11件(うち5歳未満 8件)、10代 1件、20代 3件、30代 5件、40代 5件、50代 5件、60代 12件、70代 7件、80代 5件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 54件、国内又は中国 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、年齢は20代、菌種はフレキシネル、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

腸チフス 1件 患者、年齢は60代、推定感染地はフィリピン、推定感染経路はその他(不明)であった。

パラチフス 1件 患者、年齢は40代、推定感染地はミャンマー、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

マラリア 1件 患者、年齢は30代、病型は熱帯熱、推定感染地はタンザニアであった。

レジオネラ症 2件 肺炎型 2件、年齢は60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他(不明) 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2013年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	6	1	2	2	5	17	39
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2		2	2	4	2	7
	急性脳炎 *			3		3	5	16
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1	1		6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2	10
	後天性免疫不全症候群	8	3	10	9	22	11	45
	ジアルジア症							2
	髄膜炎 菌性髄膜炎							
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	7	3	7	8	18	14	40
	破傷風		1	1		2		4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1	1	7
	風しん	30	7	41	37	85	44	154
麻しん	2		1		1	6	10	
2013/1/23集計								

* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、国内又は台湾 1件、推定感染経路は性的接触(異性間) 1件、経口感染又は性的接触(異性間) 1件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 2件、年齢は20代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触(異性間) 2件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は70代であった。

後天性免疫不全症候群 9件 AIDS 1件、無症候キャリア 8件、AIDS患者の年齢は40代、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 2件、40代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 7件、中国 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触(同性間) 8件、不明 1件であった。

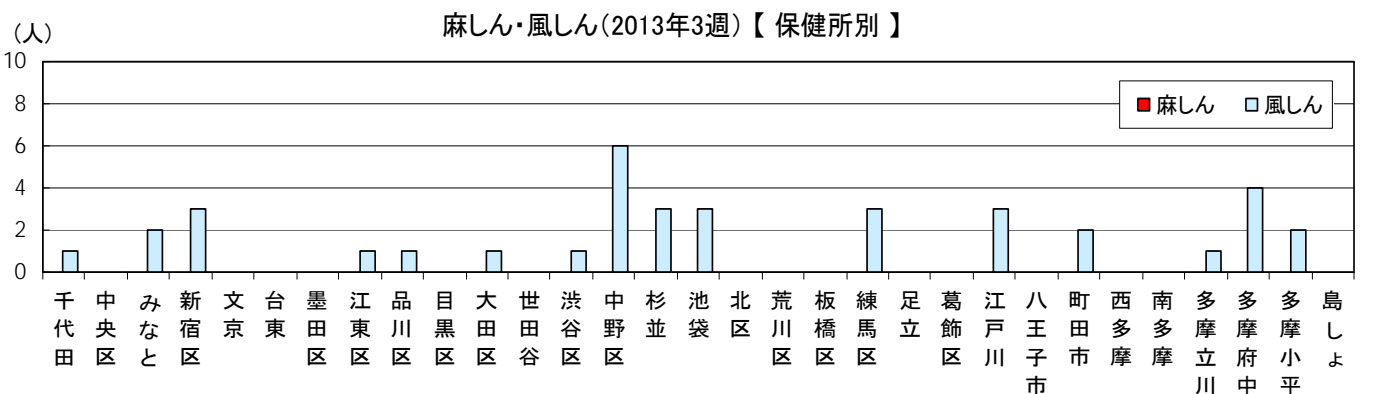
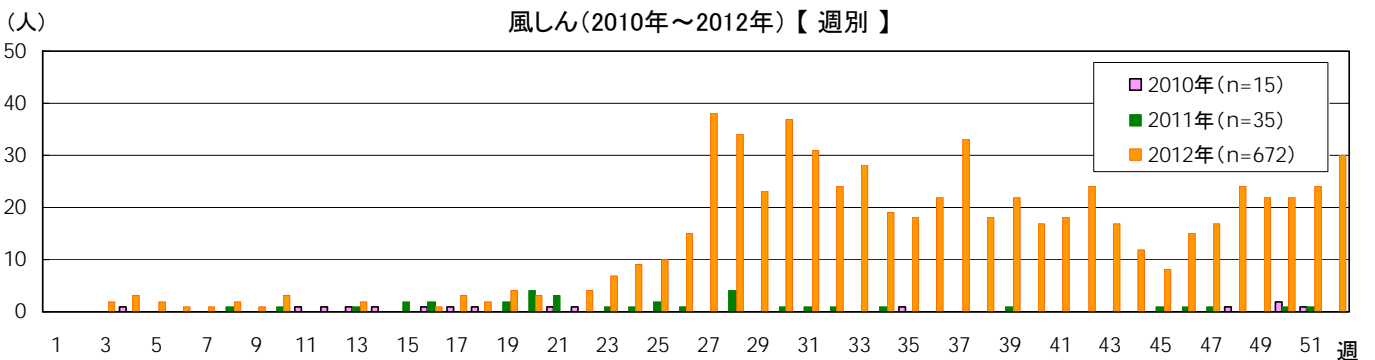
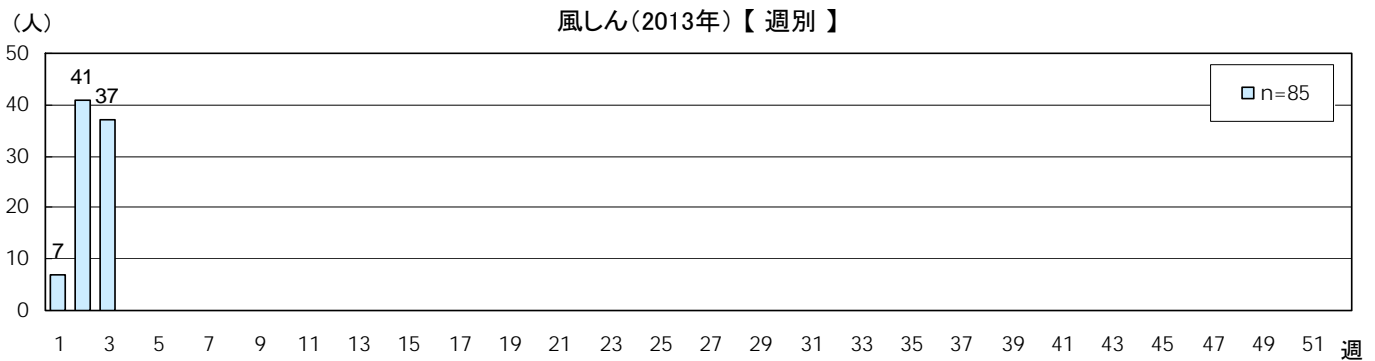
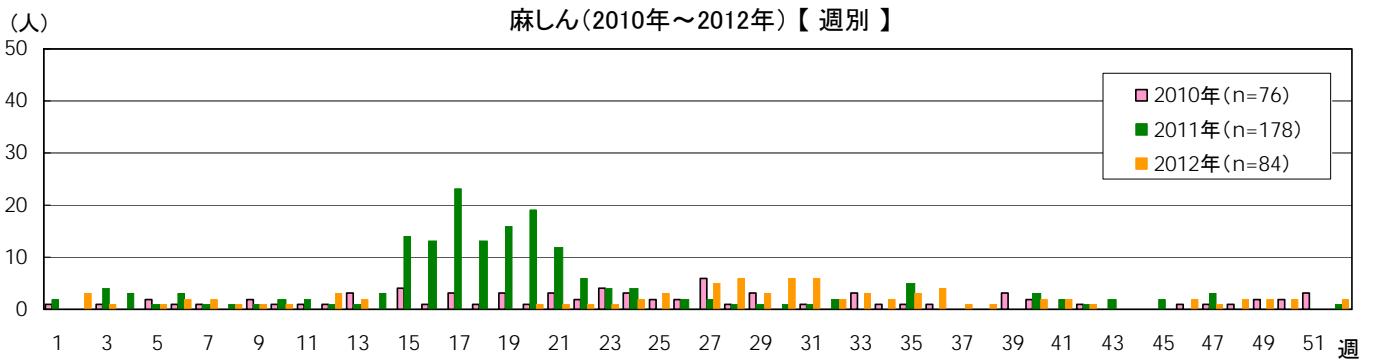
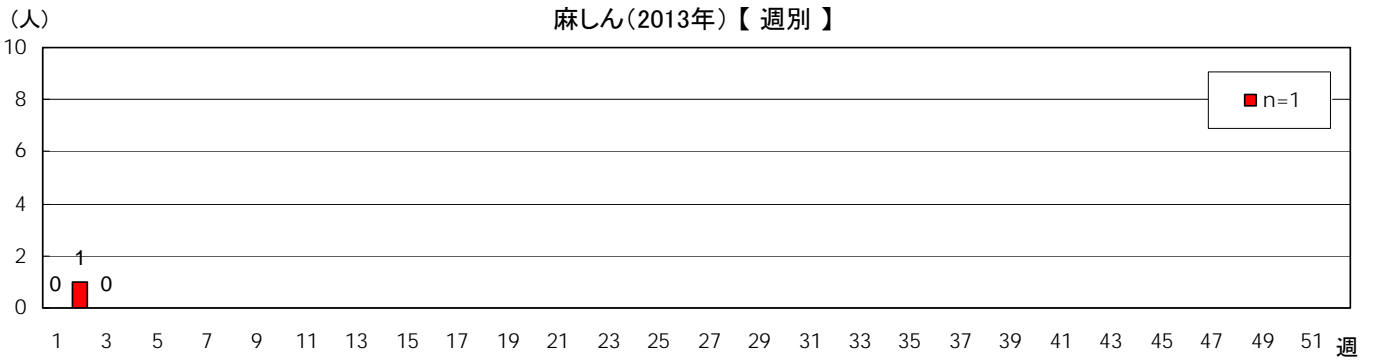
梅毒 8件 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1件、無症候梅毒 5件、年齢は20代 3件、30代 4件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 5件、異性間 2件、性別不明 1件)であった。

風しん 37件 検査診断例 27件、臨床診断例 10件、年齢は5歳未満 1件、10代 3件、20代 10件、30代 16件、40代 4件、50代 3件、推定感染地は国内 37件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 20件、接触感染 5件、その他(不明) 12件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 3件、接種なし 8件、不明 26件であった。

※ 第2週で報告のあった、〔五類〕麻しん 1件は削除された。

※ 第50週該当分として、〔五類〕麻しん 1件、第2週該当分として、風しん 5件の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2013年3週

定点種別	対象疾患	2012年	2013年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		52週	1週	2週	3週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	115	44	90	57	0.22	262	264
	咽頭結膜熱	133	36	104	61	0.23		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	428	111	475	436	1.66		
	感染性胃腸炎	3,432	729	2,425	1,917	7.32		
	水痘	311	210	406	209	0.80		
	手足口病	55	17	40	30	0.11		
	伝染性紅斑	28	5	42	23	0.09		
	突発性発しん	116	20	127	125	0.48		
	百日咳	3	1	4	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	9	2	7	4	0.02		
	流行性耳下腺炎	43	19	57	39	0.15		
	川崎病 (注1)	3	2	5	3	0.01		
不明発しん症 (注1)	20	5	18	8	0.03			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	1,577	1,127	5,919	9,989	24.01	416	419
眼科	急性出血性結膜炎			1			38	39
	流行性角結膜炎	12	5	29	16	0.42		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	2	2		1	0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	2	1		4	0.16		
	マイコプラズマ肺炎	19	11	12	16	0.64		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			2				
	インフルエンザ入院 (注4)	11	21	42	71	2.84		
2013/1/23集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は前週からさらに増加した。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

港区

- ・ 感染性胃腸炎11名中、ロタウイルス 1名。

世田谷区

- ・ 単純ヘルペスウイルス 1名。
- ・ 溶連菌感染症が増加(9名)。

荒川区

- ・ 感染性胃腸炎10名中、病原性大腸菌O25、カンピロバクター 各1名。

足立区

- ・ アデノウイルス胃腸炎 1名(6か月児)。

多摩小平

- ・ 病原性大腸菌、ノロウイルス腸炎 各2名。アデノウイルス腸炎 1名。

※「定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント」は15ページに記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2013年3週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
～5か月	9		1	8	5						
～1歳	15		1	86	14	3	1	45	1		
1歳	26	8	8	205	30	11		65		1	1
2歳	4	7	13	136	40	9	1	12		2	2
3歳	1	7	44	115	34	3	2	2			4
4歳		12	67	123	31		6				8
5歳		8	59	125	20		4	1			5
6歳		4	52	113	15		3			1	5
7歳		5	54	86	8	2	2				4
8歳		2	33	85	3		1				1
9歳		1	29	75	3		2				2
10～14歳	1	2	49	258	5	1	1				4
15～19歳		1	2	98		1					
20～29歳	1	4	24	404	1				1		3
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	57	61	436	1,917	209	30	23	125	2	4	39
先週比	-33	-43	-39	-508	-197	-10	-19	-2	-2	-3	-18

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹				
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
～5か月		1	35				1			4
～1歳	1		99							1
1歳		2	386							6
2歳		1	413		1			2		2
3歳	1		454					1		2
4歳		2	599					4		1
5歳		1	502				1	1		
6歳			517							
7歳	1		440				1			2
8歳			371					1		
9歳			310		2					1
10～14歳			1,435		2					2
15～19歳			632		1			1		
20～29歳		1	701		3			2		3
30～39歳			1,038		1		1	2		3
40～49歳			1,021		4					2
50～59歳			488		1	1				3
60～69歳			314		1					7
70～79歳			145					2		16
80歳以上			89							16
合計	3	8	9,989		16	1	4	16		71
先週比	-2	-10	4,070	-1	-13	1	4	4	-2	29

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2013年3週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				3.33	0.33	0.67		0.33		
中央区		0.33	2.67	4.67	0.67		0.33	0.67		
みなと	0.17	0.33	2.00	5.50	1.00	0.17	0.33	0.50	0.17	
新宿区	0.25	0.13	2.00	4.13	0.38	0.13				
文京	0.25		0.75	6.25				0.25		
台東	0.50		0.50	8.25	0.50	0.25		1.00	0.25	
墨田区	1.40	0.40	1.40	5.60	0.80	0.60				0.20
江東区	0.56	0.33	2.22	10.89	0.44		0.11	0.33		
品川区	0.13	0.13	1.13	9.75	0.75	0.38		0.38		
目黒区		0.20	0.40	5.20	0.60		0.20	0.20		
大田区	0.23	0.46	2.31	9.15	1.46		0.38	0.46		
世田谷	0.20	0.20	2.27	7.60	0.80	0.33	0.13	0.60		
渋谷区				5.50	0.25			0.50		
中野区	0.29		1.14	10.14	0.29	0.14		0.43		
杉並		0.20	0.40	7.10	0.60	0.20		0.60		
池袋		0.40	0.20	6.60	0.60					
北区			0.43	5.43	0.43	0.14		0.29		
荒川区	0.25	0.25	4.00	8.75	1.00		1.25	1.25		
板橋区			0.80	7.30	0.90	0.10		0.20		
練馬区	0.08	0.15	0.77	5.85	0.62	0.08		0.46		0.08
足立	0.08		1.42	7.83	0.75		0.08	0.50		0.08
葛飾区	0.25		0.25	9.00	0.25	0.38		1.00		
江戸川	0.17	0.58	2.17	10.00	1.08			0.25		
八王子市	0.36	0.27	2.91	8.91	0.82	0.18	0.09	0.36		0.09
町田市	0.13	0.13	3.50	8.38	1.38			0.88		
西多摩		0.25	0.63	5.75	1.13			0.25		
南多摩	0.22	0.22	1.78	8.67	1.33		0.22	0.78		
多摩立川	0.36	0.07	2.36	7.43	1.36	0.21		0.36		
多摩府中	0.33	0.43	2.33	5.29	0.86		0.05	0.48		
多摩小平	0.27	0.60	2.33	6.40	0.53		0.07	0.93		
島しょ				1.00	1.00					
東京都	0.22	0.23	1.66	7.32	0.80	0.11	0.09	0.48	0.01	0.02

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田				18.25					1.50		2.00
中央区				14.80		1.00					
みなと				24.78							7.00
新宿区	0.13	0.13		17.33					2.00		2.00
文京		0.25		23.71		1.00			1.00		6.00
台東				23.14							
墨田区			0.20	29.25		1.00		1.00			6.00
江東区	0.11			27.93							
品川区				12.25							
目黒区				9.38							
大田区	0.31	0.08	0.08	20.38		0.50					
世田谷	0.27			23.33			0.50		0.50		2.50
渋谷区				13.57		3.00		1.00			10.00
中野区			0.43	20.18		1.00					
杉並	0.30			20.13							
池袋				22.50							1.00
北区	0.71			20.55		2.00					
荒川区			0.25	30.00							
板橋区				14.25							3.00
練馬区				21.24		0.50					
足立	0.42			26.53							
葛飾区	0.13			35.62		2.00			3.00		2.00
江戸川	0.17			21.21							
八王子市	0.27		0.09	27.56							3.00
町田市				33.62							
西多摩	0.38			35.50		1.00					
南多摩				29.29							
多摩立川	0.14			31.20							1.00
多摩府中	0.24			24.70				0.67	0.67		5.33
多摩小平			0.07	25.78		1.00			1.00		1.50
島しょ				38.50							

東京都	0.15	0.01	0.03	24.01		0.42	0.04	0.16	0.64		2.84
-----	------	------	------	-------	--	------	------	------	------	--	------

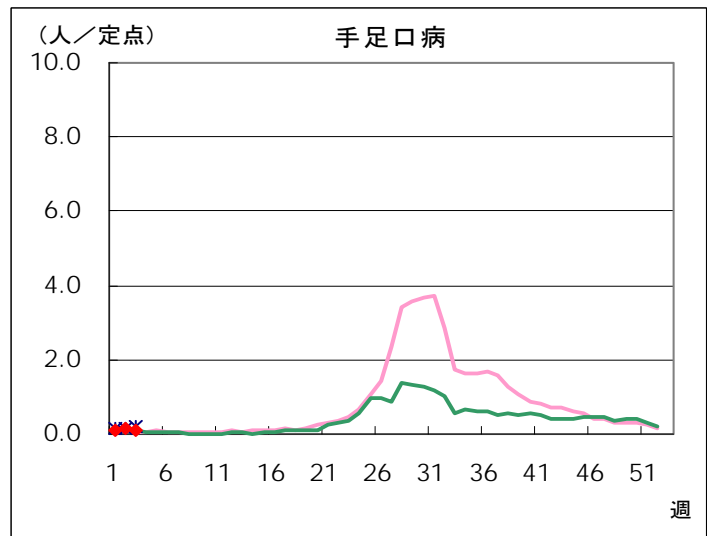
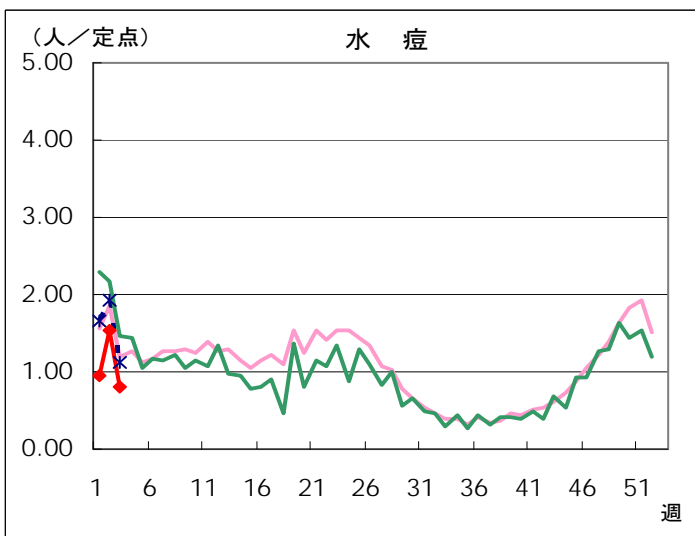
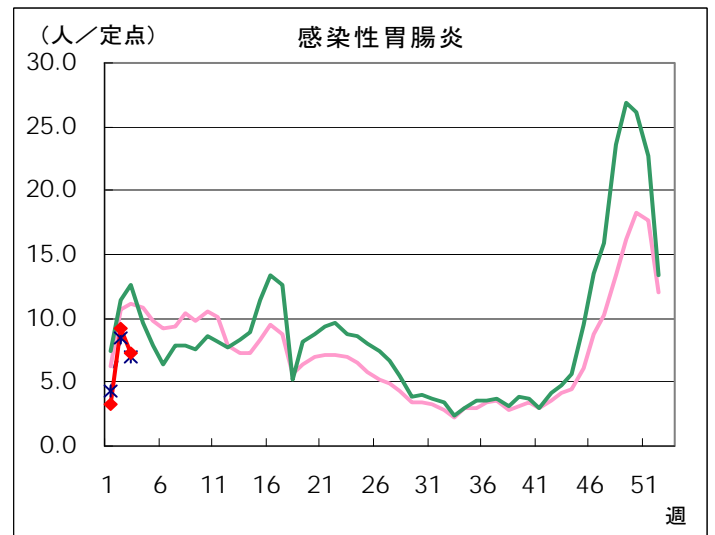
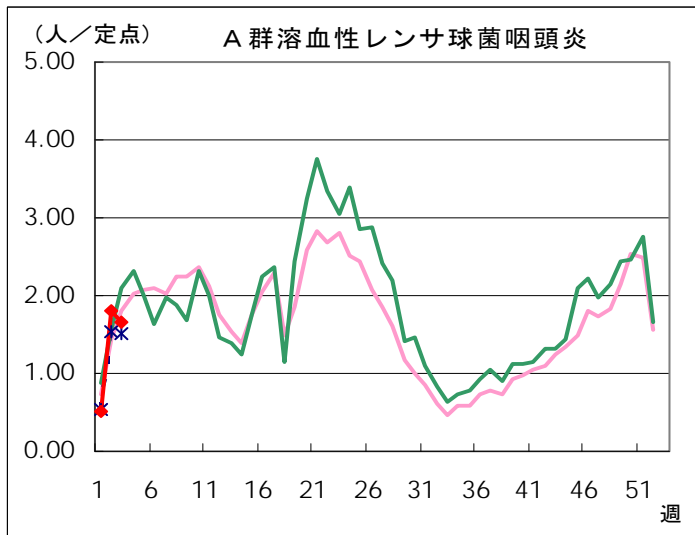
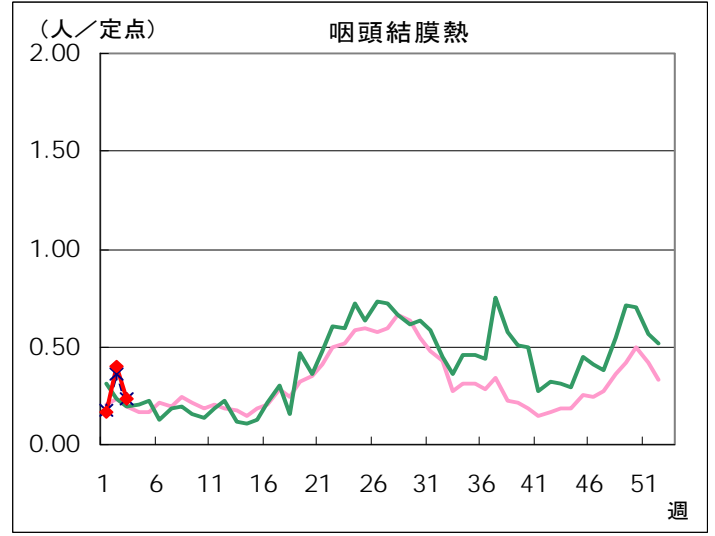
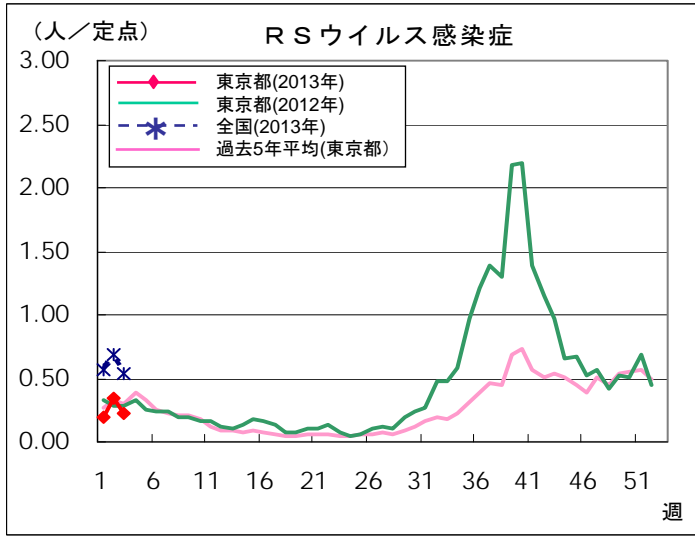
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2013年3週

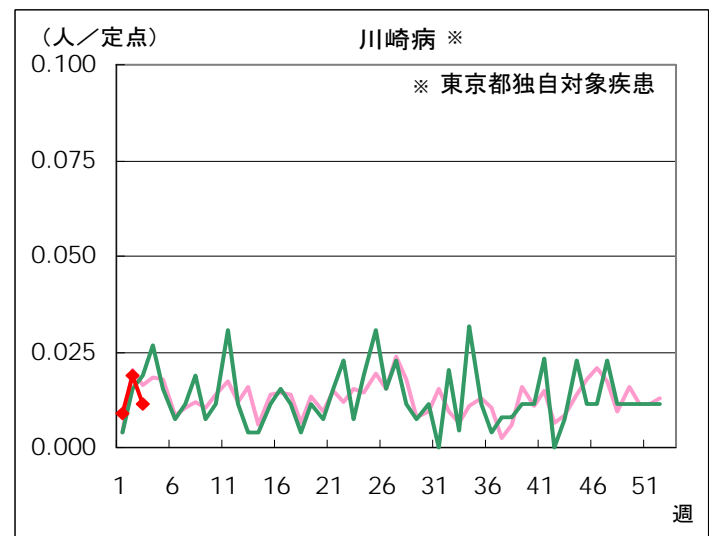
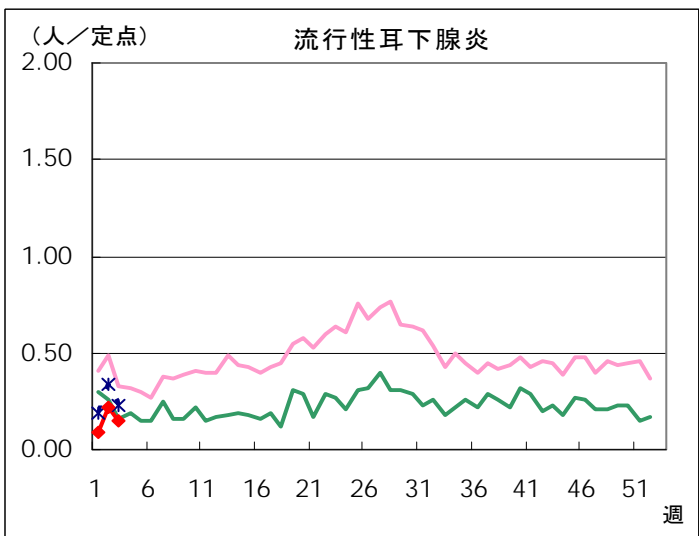
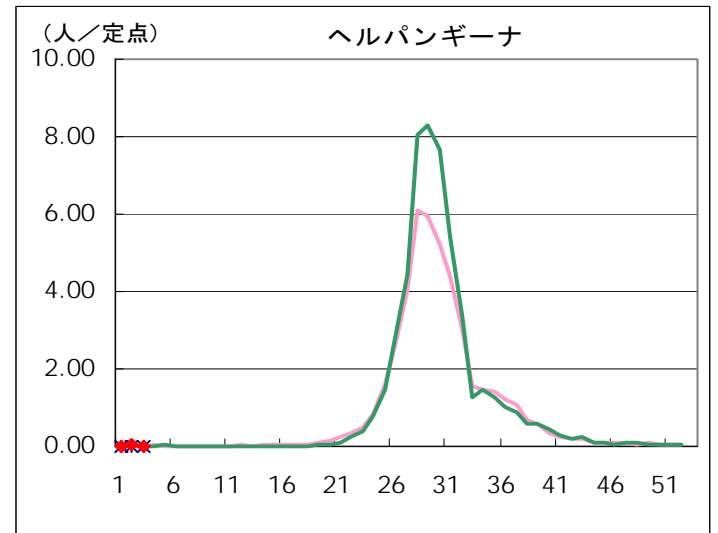
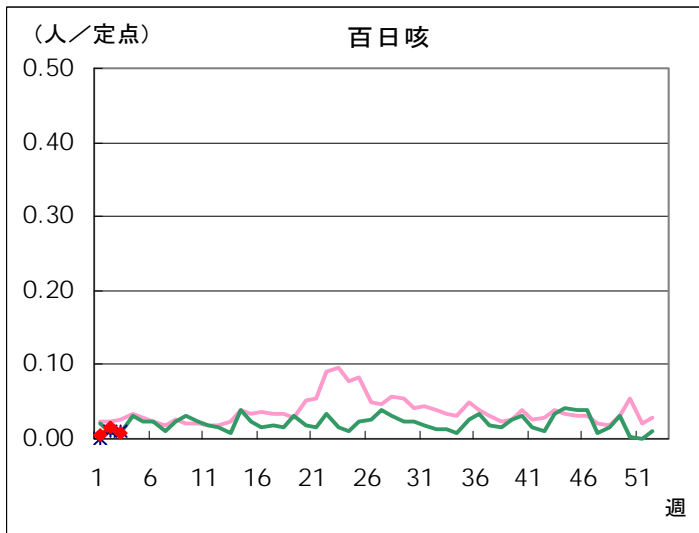
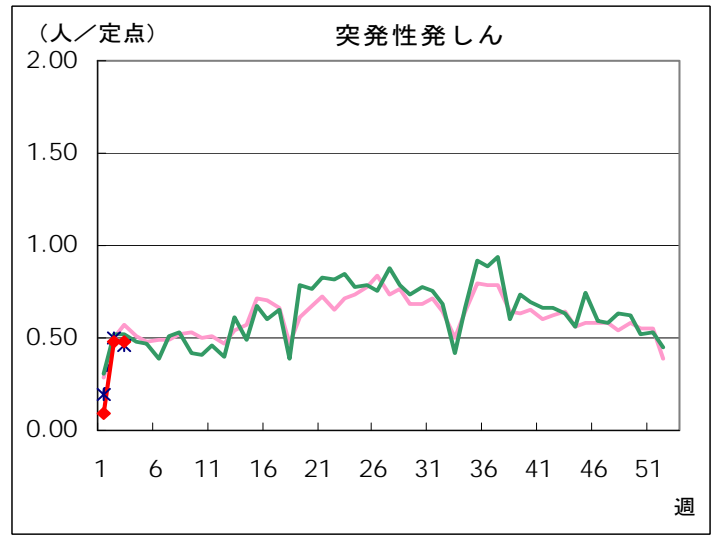
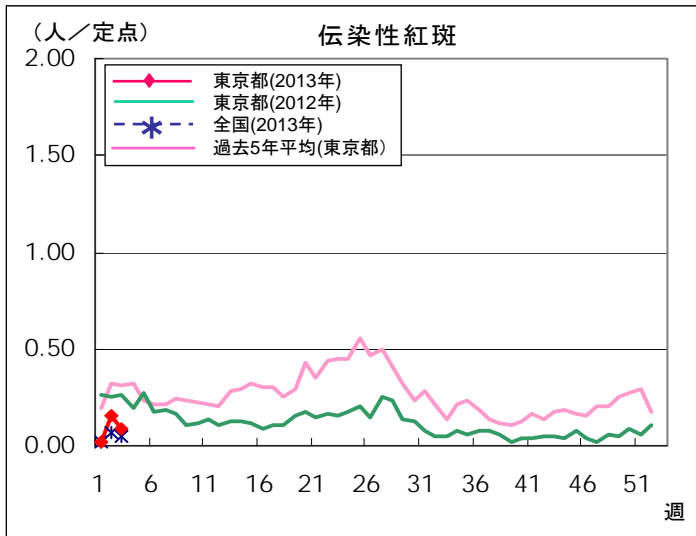
定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				10	1	2		1		
中央区		1	8	14	2		1	2		
みなと	1	2	12	33	6	1	2	3	1	
新宿区	2	1	16	33	3	1				
文京	1		3	25				1		
台東	2		2	33	2	1		4	1	
墨田区	7	2	7	28	4	3				1
江東区	5	3	20	98	4		1	3		
品川区	1	1	9	78	6	3		3		
目黒区		1	2	26	3		1	1		
大田区	3	6	30	119	19		5	6		
世田谷	3	3	34	114	12	5	2	9		
渋谷区				22	1			2		
中野区	2		8	71	2	1		3		
杉並		2	4	71	6	2		6		
池袋		2	1	33	3					
北区			3	38	3	1		2		
荒川区	1	1	16	35	4		5	5		
板橋区			8	73	9	1		2		
練馬区	1	2	10	76	8	1		6		1
足立	1		17	94	9		1	6		1
葛飾区	2		2	72	2	3		8		
江戸川	2	7	26	120	13			3		
八王子市	4	3	32	98	9	2	1	4		1
町田市	1	1	28	67	11			7		
西多摩		2	5	46	9			2		
南多摩	2	2	16	78	12		2	7		
多摩立川	5	1	33	104	19	3		5		
多摩府中	7	9	49	111	18		1	10		
多摩小平	4	9	35	96	8		1	14		
島しょ				1	1					
東京都合計	57	61	436	1,917	209	30	23	125	2	4

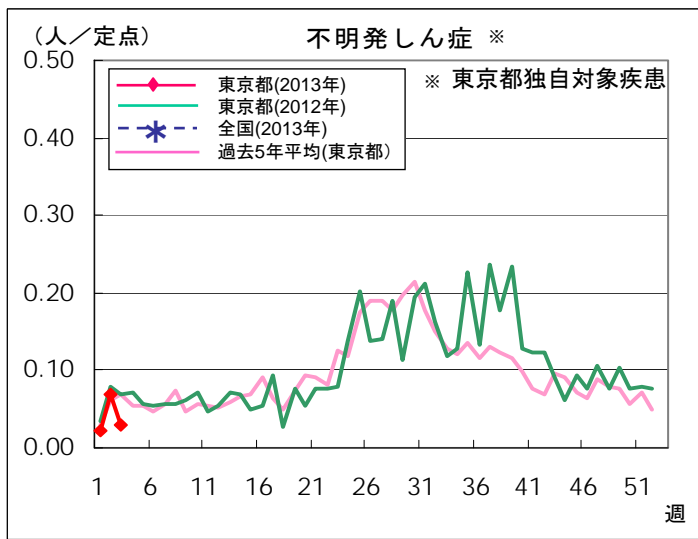
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田				73					3		4
中央区				74		1					
みなと				223							7
新宿区	1	1		208					4		4
文京		1		166		1			1		6
台東				162							
墨田区			1	234		1		1			6
江東区	1			391							
品川区				147							
目黒区				75							
大田区	4	1	1	428		1					
世田谷	4			560			1		1		5
渋谷区				95		3		1			10
中野区			3	222		1					
杉並	3			322							
池袋				180							1
北区	5			226		2					
荒川区			1	210							
板橋区				228							3
練馬区				446		1					
足立	5			504							
葛飾区	1			463		2			3		2
江戸川	2			403							
八王子市	3		1	496							3
町田市				437							
西多摩	3			497		1					
南多摩				410							
多摩立川	2			624							1
多摩府中	5			815				2	2		16
多摩小平			1	593		2			2		3
島しょ				77							
東京都合計	39	3	8	9,989		16	1	4	16		71

定点把握対象疾患 週別報告数(2013年3週 現在)

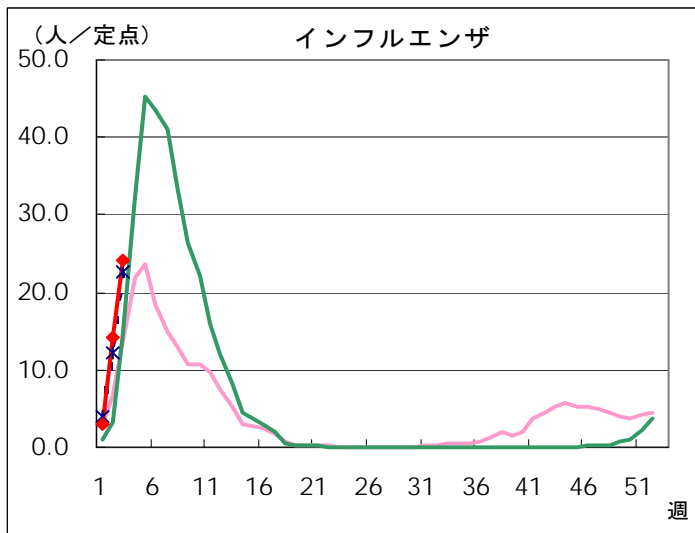
◆ 小児科定点



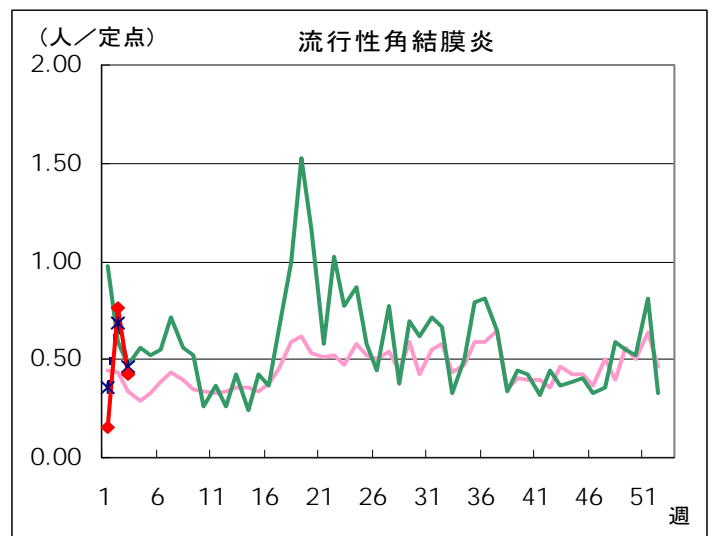
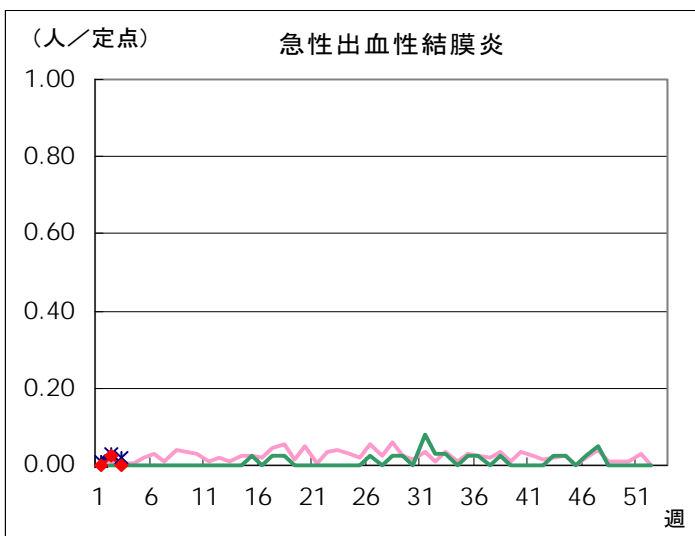




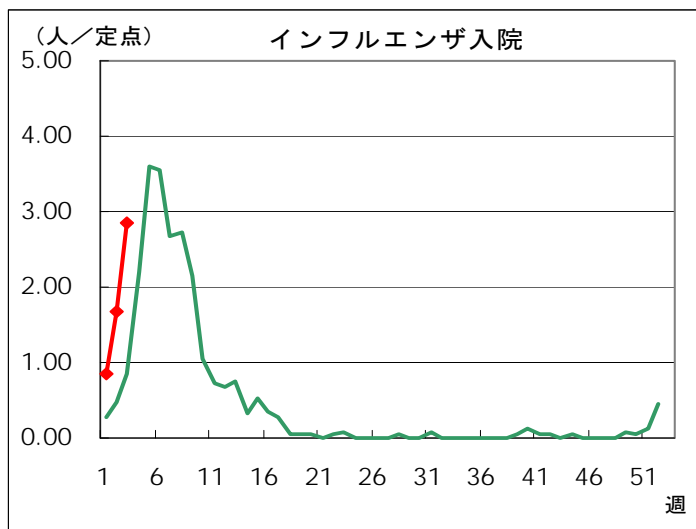
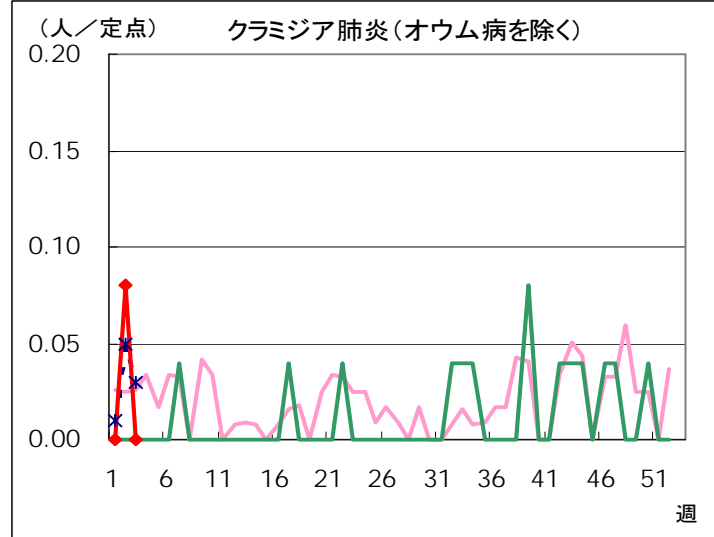
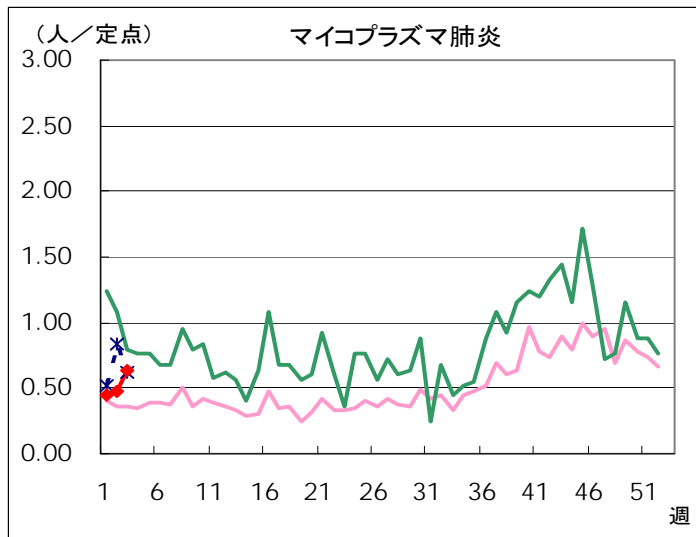
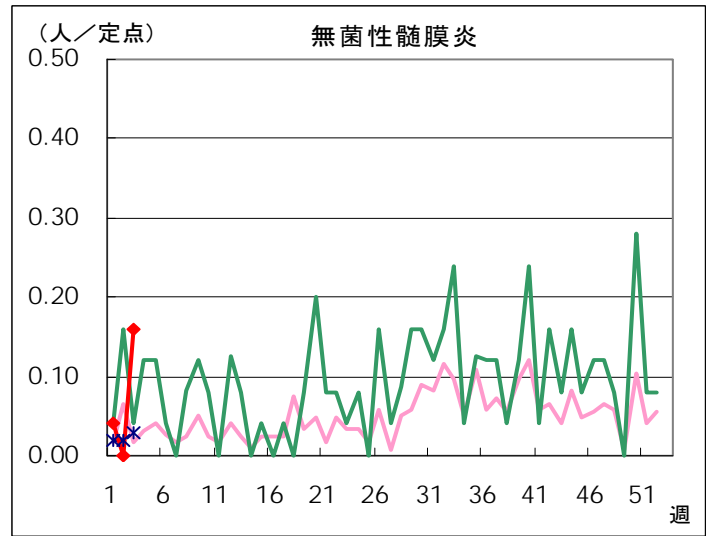
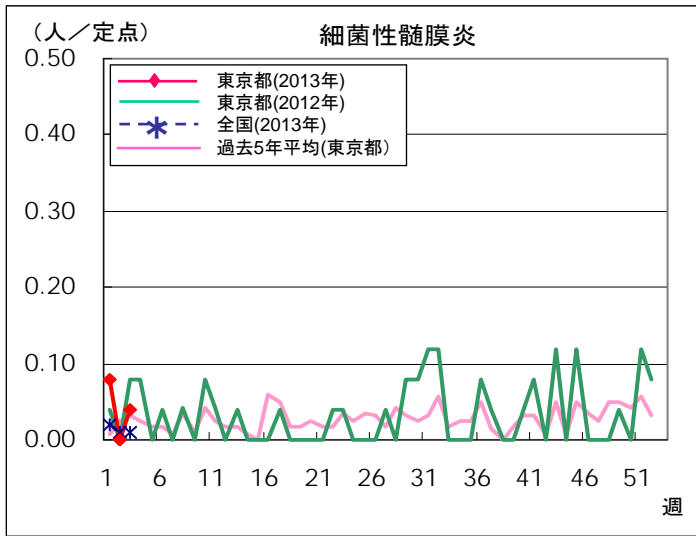
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	備 考
	A型	B型	記載なし		
みなと	108	6		4	
新宿区	38			2	
台東	132	1	28	6	・インフルエンザが増えてきました。
墨田区	85		10	4	
江東区	312	6	22	12	
品川区	111	3		7	
目黒区	41			3	
大田区	154	4	7	10	・A型 11名、B型 2名人でした。予防接種は一人を除いて、皆接種していました。
世田谷	200	4	46	12	・臨床診断例 3名。 ・すべてA型。例年より、中高年の方にも発生が見られます。
渋谷区	24		18	3	
中野区	216			10	・臨床診断例 1名(2医療機関より)。 ・臨床診断例 2名(2医療機関より)。
杉並	92	1		4	
池袋	65	2		2	
北区	111		30	4	・15才以上のインフルエンザが多いですが、小児も少しずつ増えてきました。
荒川区	122	3	2	4	・A型B型同時 1名。
練馬区	219	1		10	
葛飾区	438	4	2	12	・流行の兆しが認められます。全てA型です。 ・全員インフルエンザ予防接種せず。 ・臨床診断例 9名。
江戸川	85	1		4	
八王子市	365	1		13	・臨床診断例 1名。
町田市	78	1		4	
西多摩	321	1	38	9	
南多摩	213	1	66	10	・1/14 休日診療にて40名程度のインフルエンザが出ました。インフルエンザA型が流行しています。
多摩立川	137	2	35	6	
多摩府中	145	2		6	・臨床診断例 2名。
多摩小平	328	6	3	10	
島しょ	77			1	
総計	4,217	50	307	172	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/8	感染性胃腸炎	2M	糞便	ノロウイルスG II	遺伝子
1/11	気管支炎	2M	咽頭拭い液	RSウイルス サイトメガロウイルス	
1/7	気管支炎	6M	鼻汁	ライノウイルス	
1/9	突発性発しん	9M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
1/9	RSウイルス感染症	10M	鼻汁	RSウイルス	
12/24	髄膜炎疑い	10M	髄液	ムンプスウイルス	
1/7	水痘疑い	1	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
12/26	手足口病	1	咽頭拭い液	麻しんウイルス 風しんウイルス エンテロウイルス } ※1	
12/27	口内炎 手足口病	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
1/10	インフルエンザ	5	鼻汁	ライノウイルス インフルエンザウイルス AH3型 ※2	
1/8	不明発しん症	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
1/10	エンテロウイルス感染症	14	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
1/10	発熱 インフルエンザ	14	鼻汁	エンテロウイルス インフルエンザウイルス AH3型 ※2	
1/5	流行性角結膜炎	41	結膜拭い液	単純ヘルペスウイルス	
12/26	伝染性紅斑	記載なし	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 7型	

※1 検体採取日8日前にMRワクチン接種

※2 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
2週			40	
2012-2013年 シーズン累計**	1		93	2

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2012-2013シーズンの開始は第36週(2012年9月3日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2012年						2013年	
		47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週
ウイルス	アデノウイルス		1	6	2	4	4		
	ライノウイルス	1	1		3	1	1		2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群					1			
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1		1	2	2	1		5
	単純ヘルペスウイルス			1	2				1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								1
	ヘルペスウイルス6/7		1	5	3	8	3	1	2
	EBウイルス	1		1	3	2			
	サイトメガロウイルス								1
	ムンプスウイルス			1	1				1
	麻疹ウイルス					1			1
	風しんウイルス					1		1	1
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	1	1	2	1	2	3		2
	ノロウイルス	1	2		7	7	1		1
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	1	3	2	8	13	11		40	
インフルエンザウイルスB			1						
インフルエンザウイルスAH1pdm09			1						
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス		2		1	1				
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2012年47週～2013年2週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他
搬入検体数		80	16	28	41	23	7		2	2	6	1	23	5	1	3	1	51
ウ イ ル ス	アデノウイルス	2	3	2	2	1	3				1		1					2
	ライノウイルス	1		3	1		1				1			2				
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群	1																
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1		1						1	5		3					1
	単純ヘルペスウイルス								1	1								2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1			
	ヘルペスウイルス6/7		1	1						1	1	1	12				1	5
	EBウイルス		1			1								4				1
	サイトメガロウイルス			1														
	ムンプスウイルス						2							1				
	麻しんウイルス										1		1					
	風しんウイルス										1		1					1
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス		1	10				1										
	ノロウイルス				19													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	76						1											1
インフルエンザウイルスB	1																	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1																	
デングウイルス (抗体を含む)																		
その他のウイルス				4														
細 菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
	百日咳																	
	マイコプラズマ																	
	その他の細菌																	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2012年12月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	105	1.98	167	3.15	53	55
		女	62	1.17				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	55	1.04	101	1.91		
		女	46	0.87				
	尖圭コンジローマ	男	55	1.04	77	1.45		
		女	22	0.42				
	淋菌感染症	男	73	1.38	83	1.57		
		女	10	0.19				
	膣トリコモナス症 *1	男			8	0.15		
		女	8	0.15				
梅毒様疾患	男	12	0.23	14	0.26			
	女	2	0.04					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	45	1.88	70	2.92	24	25
		女	25	1.04				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	14	0.58	23	0.96		
		女	9	0.38				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	2	0.08	2	0.08		
		女						
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男						
		女						

2013/1/23

*1 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2012年12月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							4	1		
1～4歳							6	9		
5～9歳										
10～14歳										
15～19歳							1			
20～24歳	5	2	6	10						
25～29歳	24	1	11	14		1				
30～34歳	25	7	7	17		4				
35～39歳	18	10	10	9		1		1		
40～44歳	11	13	7	10		1				
45～49歳	10	4	5	9		2	1			
50～54歳	3	8	3	3		1	2			
55～59歳	5	4	3			1	1			
60～64歳	3	2	1			1	1	1		
65～69歳		2	2	1			4			
70歳～	1	2					25	2	2	
合計	105	55	55	73		12	45	14	2	
先月数	103	74	56	79	2		55	18	2	
増減数	2	-19	-1	-6	-2	12	-10	-4		

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							1			
1～4歳							2	6		
5～9歳							3	2		
10～14歳							1			
15～19歳	8	2	1	1	2		1			
20～24歳	16	5	11	6	2	2				
25～29歳	17	8	5	2	2					
30～34歳	13	8	2	1						
35～39歳	2	8	3		1					
40～44歳	3	3								
45～49歳	2	6					2			
50～54歳		1					1			
55～59歳	1	2					1			
60～64歳		2			1		1			
65～69歳							1			
70歳～		1					11	1		
合計	62	46	22	10	8	2	25	9		
先月数	65	48	30	17	10	3	43	10	1	
増減数	-3	-2	-8	-7	-2	-1	-18	-1	-1	

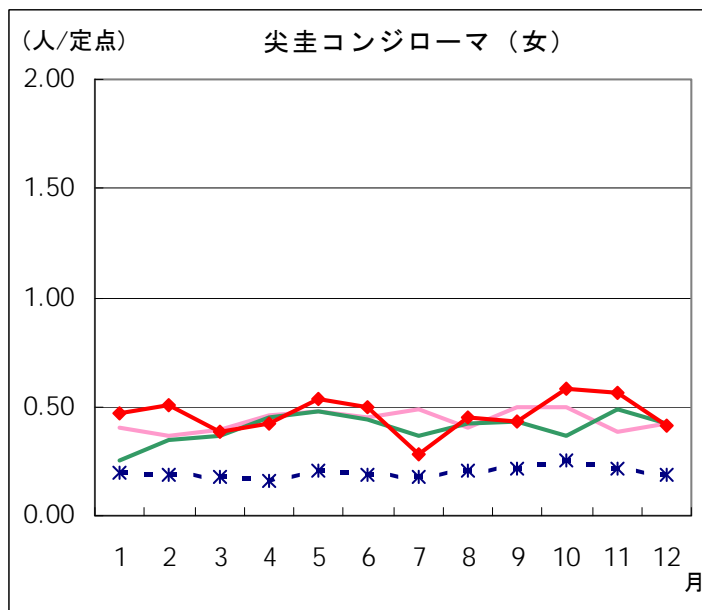
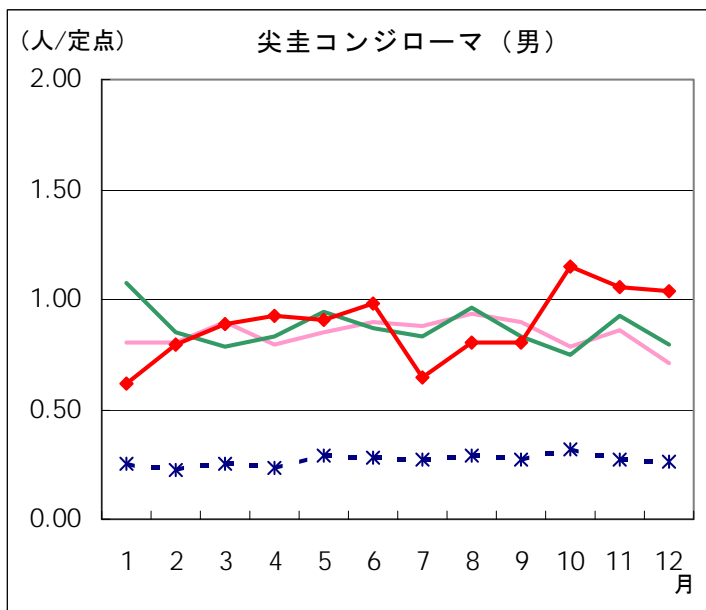
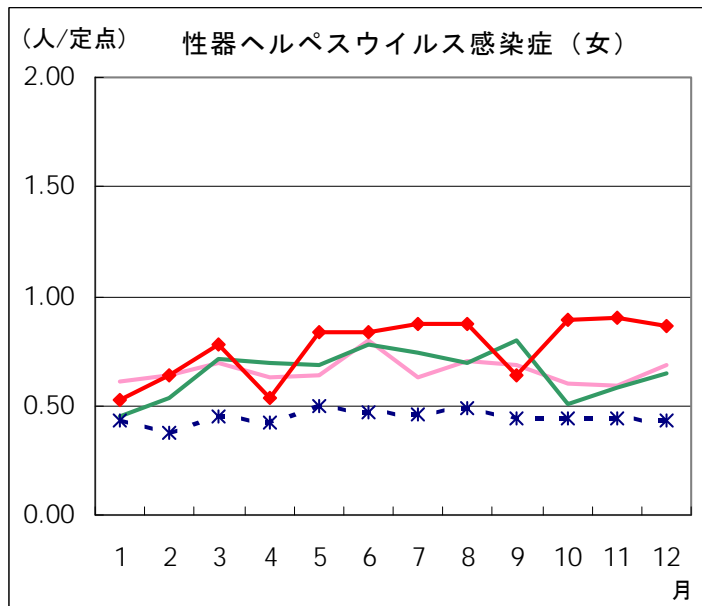
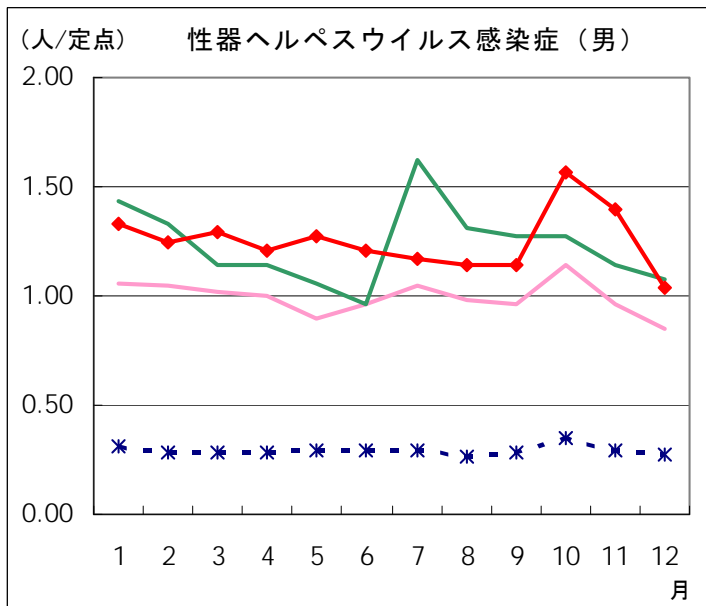
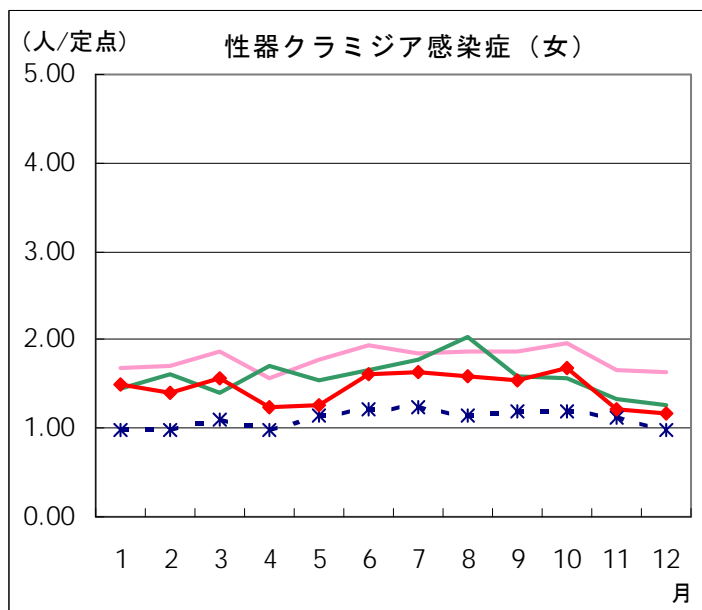
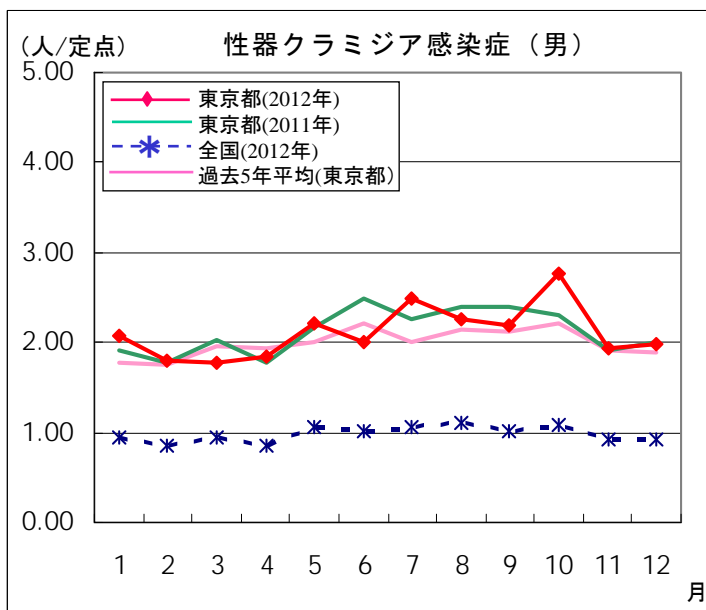
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2012年12月

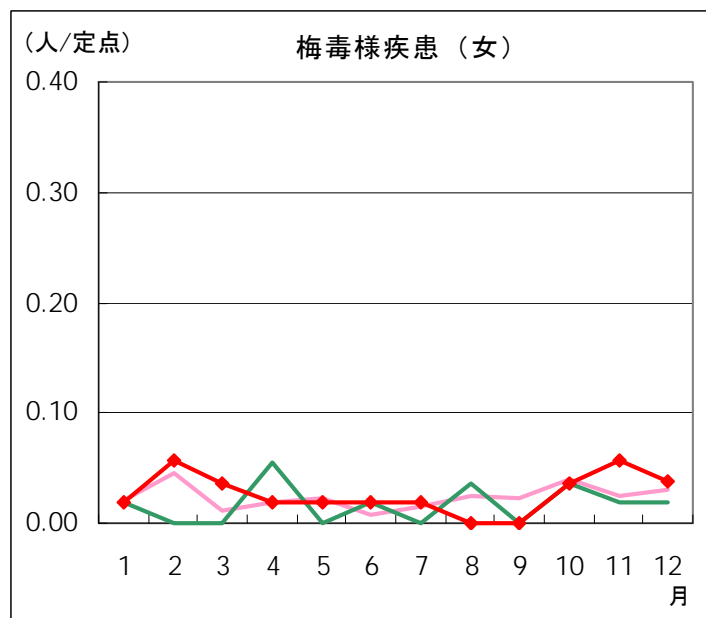
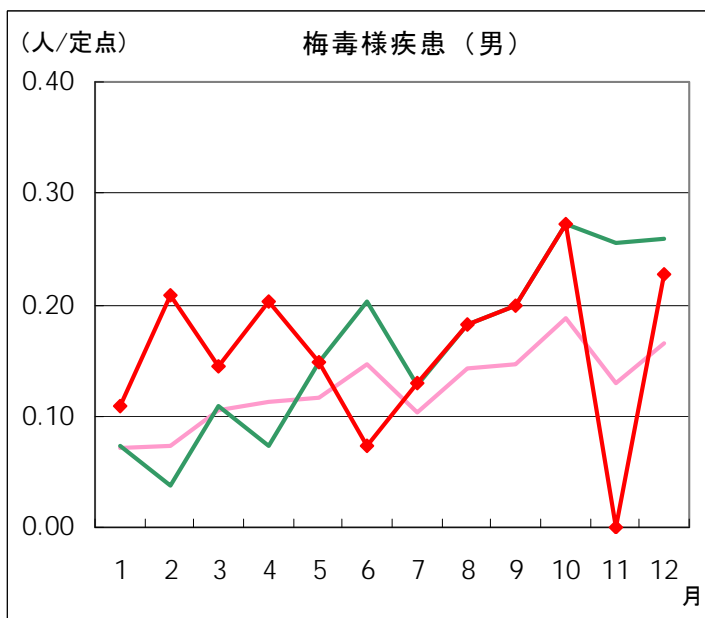
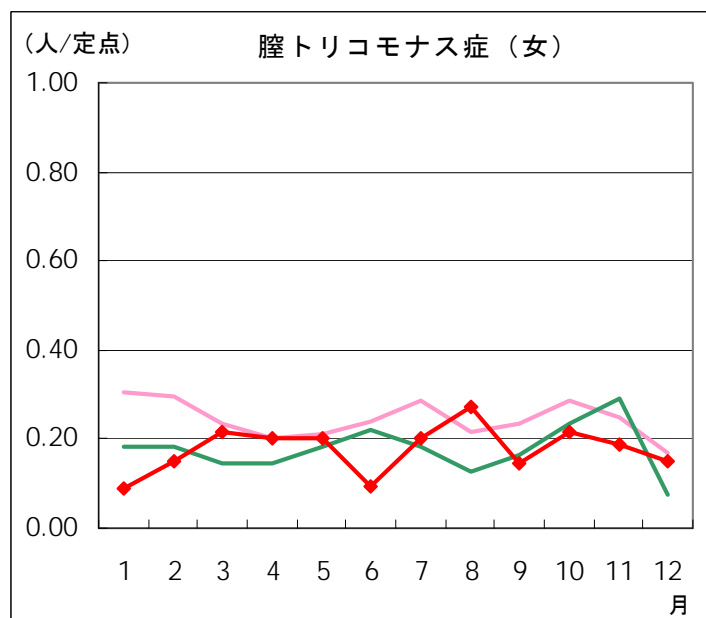
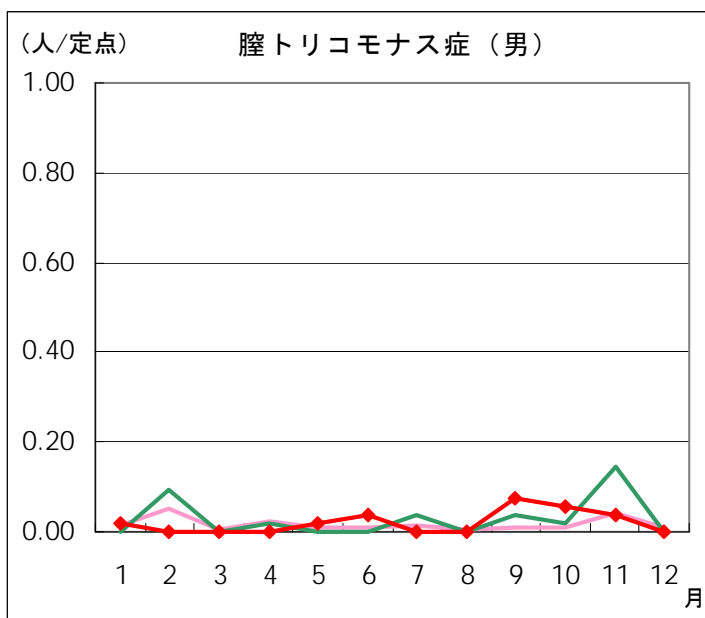
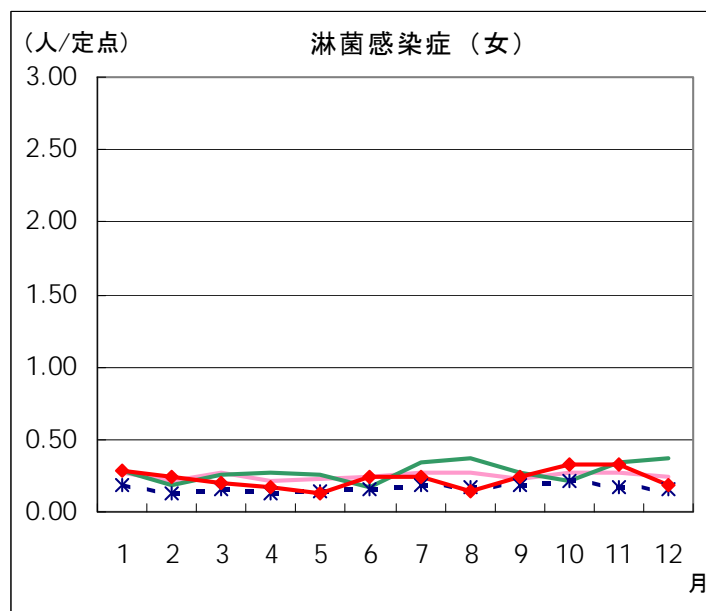
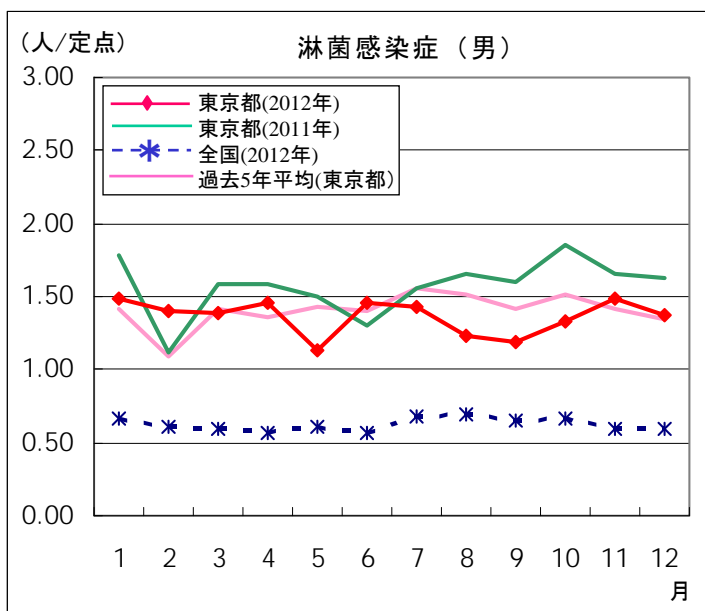
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	陰トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	14	2	4	10		1	31
中央区	3	9	6	2	5			22
みなと	2	6	32	10	5			53
新宿区	7	13	1	20	20		9	63
文京	1	5	1	2	4			12
台東	2							
墨田区	2	2						2
江東区	2	10	4	6	11			31
品川区	1	10	3	4	1			18
大田区	2	1			3			4
渋谷区	5	8			2			10
中野区	2	3	1		3		1	8
杉並	2	4		1				5
池袋	3	14	4	4	6		1	29
北区	1			2				2
荒川区	1							
板橋区	2	1	1		2			4
足立	2	4						4
江戸川	1							
八王子市	4							
町田市	1							
多摩立川	2							
多摩府中	2	1			1			2
多摩小平	1							
合 計	53	105	55	55	73		12	300
定点当たり		1.98	1.04	1.04	1.38		0.23	5.66

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	陰トリコモナス症	梅毒様疾患	総 計
千代田	2	2						2
中央区	3		2					2
みなと	2	5	6	10	2			23
新宿区	7	3	8	7	4	1	1	24
文京	1							
台東	2	1	1			2		4
墨田区	2	1		1				2
江東区	2	1	2					3
品川区	1		1					1
大田区	2	7					1	8
渋谷区	5	3	7	2				12
中野区	2		1	1		1		3
杉並	2	1						1
池袋	3	10	5	1	3			19
北区	1							
荒川区	1	1	2					3
板橋区	2	4	3					7
足立	2	5						5
江戸川	1	2	1			1		4
八王子市	4	3	3					6
町田市	1	3	1					4
多摩立川	2	10	3		1	3		17
多摩府中	2							
多摩小平	1							
合 計	53	62	46	22	10	8	2	150
定点当たり		1.17	0.87	0.42	0.19	0.15	0.04	2.83

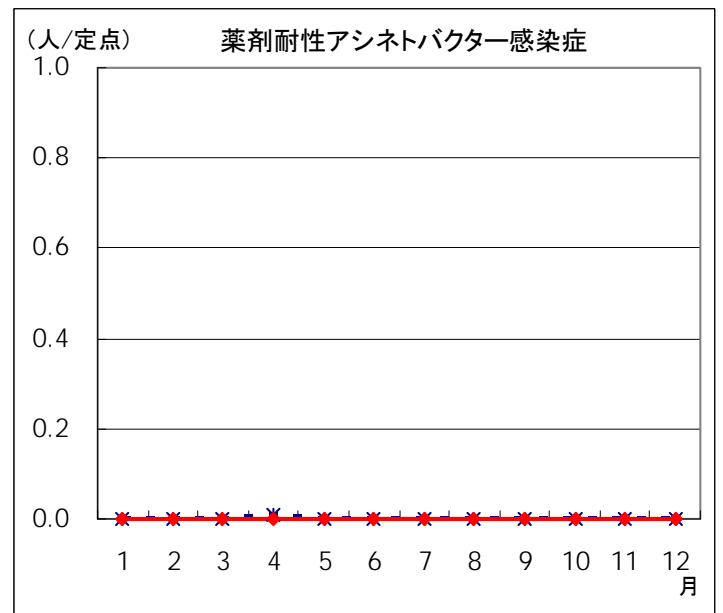
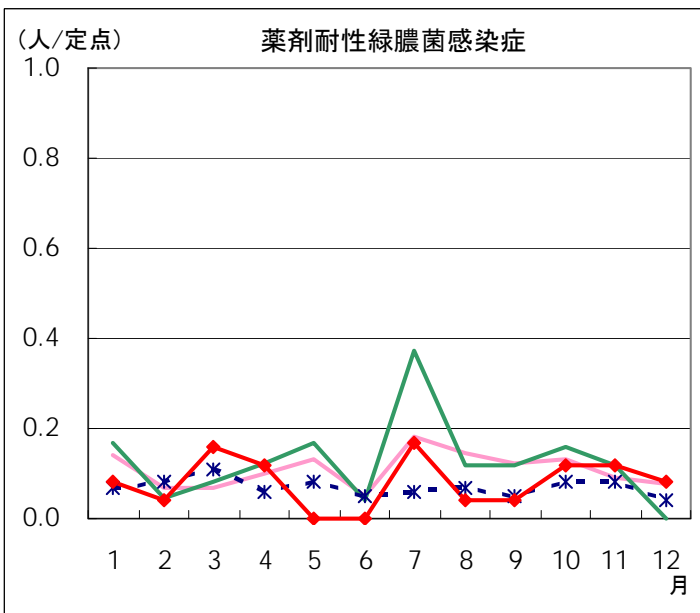
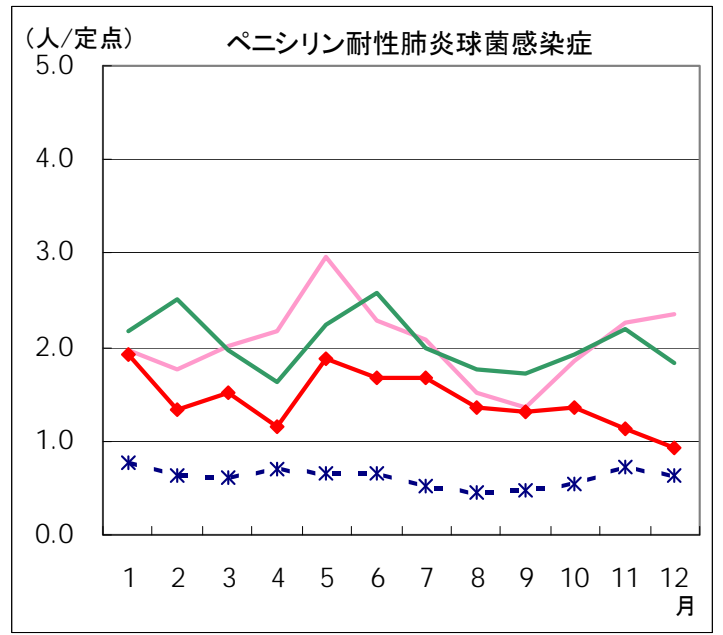
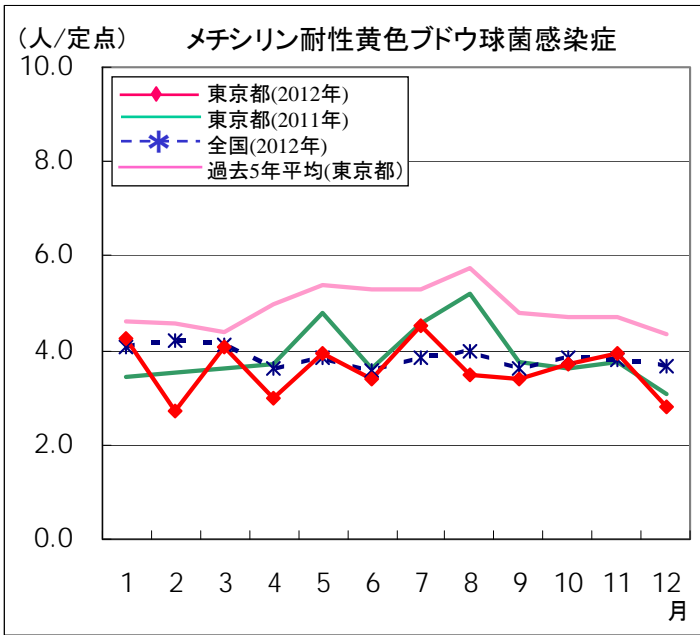
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2012年12月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇病原体検出状況

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
12/12	尖圭コンジローマ疑い	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	遺伝子
12/12	陰茎ヘルペス	22	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
12/26	淋菌性尿道炎	23	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
12/5	淋菌性尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
12/26	淋菌性尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	髄膜炎菌	分離同定
12/5	尿道炎	27	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/12	尿道炎	27	男	尿	クラミジア	
12/12	陰茎コンジローマ	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
12/5	尿道炎	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
12/10	外陰部単純ヘルペス疑い	31	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	遺伝子
12/26	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	
12/12	尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
12/19	外陰部ヘルペス	34	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
12/19	疣贅(陰茎)	34	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	
12/5	陰茎コンジローマ	35	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型 ヒトパピローマウイルス 67型	
12/21	尖圭コンジローマ	36	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 6型	
12/14	尿道炎	36	男	尿	淋菌	
12/5	淋菌性尿道炎	36	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
12/19	淋菌性尿道炎	37	男	尿	淋菌	
12/14	尿道炎	38	男	尿	淋菌	
12/26	淋菌性尿道炎	38	男	尿	淋菌	
12/12	淋菌性尿道炎	40	男	尿	淋菌	
12/10	性器ヘルペス疑い	42	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
12/14	尿道炎	43	男	尿	淋菌	
12/19	尿道炎	43	男	尿	淋菌	
12/5	尿道炎	45	男	尿	クラミジア	
12/19	陰茎ヘルペス	47	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
12/5	尿道炎	54	男	尿	クラミジア	
12/19	陰茎コンジローマ	55	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	

<感染症豆知識>

RS ウイルス感染症について

RS ウイルス感染症はパラミキソウイルス科に属する Respiratory Syncytial Virus (RSV) によって生ずる 5 類感染症定点把握疾患である。感染力が強く、2 歳迄にほぼ 100% の小児が感染し、6 カ月未満の乳幼児やハイリスク児は細気管支炎や肺炎を生じ重症化する。終生免疫はつかず加齢に伴い再感染は軽症となる。風邪症状のみの RSV 感染症も多く家族内や乳幼児および老人の集団生活施設での流行抑制は困難である。無呼吸発作を起こす新生児期の RSV 感染症や、痙攣で発症する乳幼児期の RS 脳症・脳炎は呼吸器症状や発熱が無い事もあり、乳幼児突然死症候群 (SIDS) との関連で注目されている。

流行は温帯地方では冬季に、熱帯地方では雨季にみられ、日本では沖縄を除いて、例年 10 月～3 月に流行していた。ところが 2011 年には夏から発生し始め、特に 2012 年 9 月 (40 週) には 定点 (東京) あたり 2.19 と 2003 年以来の定点観測史上最多となった。今回の大流行の要因は 2011 年から外来乳児の RSV 迅速検査費用が保険適応となり報告例が増加したことがあげられるが、RSV の G 蛋白の新しい遺伝子出現時に大流行したという報告もあり、RSV の遺伝子変化や環境要因を含めた検討が必要である。

治療は対症療法である。RSV 感染症の予防薬としてヒト化抗 RSV - F 蛋白単クローン抗体のパリビズマブがあり、35 週未満の早期産児、気管支肺異形成児や先天性心疾患児に投与されているが高価であり、一般普及は難しい。ワクチンはまだない。1960 年代米国で不活化 RS ワクチンが開発されたが、接種児が RSV に感染すると重症になる恐れがあり中止された。現在生ワクチン開発がすすめられているが実用化に至っていない。効果的で安全なワクチンの早期開発が望まれる。

(文責 くろさわ子ども & 内科クリニック 黒澤サト子)